

各 位

平成30年11月15日  
山形市野草園 : 山形市大字神尾 832-3  
電話 023-634-4120

## 山形市野草園からのお知らせ



### 春と秋に開花するジュウガツザクラ

野草園には、秋（10月後半から）にも開花するジュウガツザクラ（十月桜）があります。これはコヒガンザクラの園芸品種で、春（4月）と秋の2回花が咲き、花は淡紅白色で八重咲きです。この寒い時季、葉を落とした後にも咲き続けています。

11月後半の野草園では、小さな果実のつく樹木が見られます。それらの果実は食べ物の少ない冬、鳥たちの餌になるのかもしれませんが。樹木の紅葉が終わり、風によってたくさんの葉が舞い散っています。樹木の周りは落ち葉でいっぱいです。

この時期、植物たちはまもなくやって来る冬の寒さの備えを始めています。同時にその後の春の萌え出しの準備も着々と進めています。多くの樹木には冬芽を確認することができます。冬芽は、春になると伸びて葉や花になります。寒さを防ぐために鱗片などで覆われています。

野草園の開園は今月までです。冬、たくさんの雪で覆われますので、来月から4カ月間休園します。野草園は冬期休園期間中もいくつかのイベントを予定しています。幼稚園や保育園の子供たちの「そり滑り」は2月の第3週に計画しています。

今年度の来園に感謝して、来年度も皆さんの憩いの場となるように、運営面でも工夫していきますので、どうぞよろしくお願い致します。来春4月の開園時には、ザゼンソウやミズバショウ、オオミスミソウやフクジュソウなどの早春の花が来園者を出迎えてくれることでしょう。

**冬期休園：12/1（土）～ 平成31年 3/31（日）**

## 11月後半の予定

### ◆【第25回 野草園の魅力を探る写真コンテスト入賞作品展】

○日 時 10/20(土)～11/25(日) 9:00～16:30

○場 所 自然学習センター

### ◆【ガイドウォーキング】

○日 時 11/18(日)、23(金)、25(日)

①10:00～11:00 ②11:00～12:00 ③13:00～14:00 ④14:00～15:00

○場 所 野草園内全域

○内 容 職員と一緒に園内を散策します。申し込み不要、その場で参加できます。もちろん無料です。見どころの植物の場所に案内し、その説明もします。

## 春の開園日までの予定

◆【四季観察会 ④】 2/17(日) 10:00～12:00 —樹木と冬芽— 講師：佐竹恵一氏・齋藤正司氏

◆【四季観察会 ⑤】 3/17(日) 10:00～12:00 —早春の植物— 講師：志鎌節郎氏・佐竹恵一氏

### ◆【そり滑り】

○日 時 2/18(月)～22(金) 10:00～12:00 保育園、幼稚園の団体のみ

2/23(土)・24(日) 10:00～14:00 一般

### ◆【フレオープン】

正式な開園に先駆けて、**3/30(土)、31(日)9:00～16:30**に野草園は**“フレオープン”**します。冬の間、植物たちはどのように春を待っていたのでしょうか。是非、春に目覚める植物たちの様子を見にいらしてください。

### ※フレオープン中のガイドウォーキング

正式開園後のガイドウォーキングは、毎週日曜日に設定していますが、プレオープン期間の2日間も行います。ぜひご参加ください。

○時 間 ①10:00～11:00 ②11:00～12:00 ③13:00～14:00 ④14:00～15:00

雪解けの湿地や林下に咲く早春の花たちを見てみませんか。

◆4月1日(月) 野草園の開園日…入園記念に、花の苗をプレゼントします(先着100名)。

## ●●● 11月後半に見られる花と樹木の果実と冬芽 ●●●



### マルバノキ(マンサク科)

山地の谷間などに生える落葉低木です。葉は互生し、卵円形または円形で基部は心形です。秋には美しく紅葉します。葉のわきのごく短い柄の先に、暗紅紫色の花を2個背中合わせに開きます。花弁は5枚あり、星形に平開します。マルバノキはその葉が丸いことに基づき、別名ベニマンサクはその花が赤色であることに基づいた名前です。



### ナナカマドの果実(バラ科)

山地の林縁などに生える落葉小高木で、夏に白い花を咲かせます。山形市のシンボルの木としても知られています。今は赤い果実がたくさんぶら下がっています。この果実は冬に葉が落ちても残ります。美味しくありませんが、冬になると餌が少なくなり鳥たちが食べるようです。



### ムラサキシキブの果実(クマツツラ科)

低い山地や野原に生える落葉の低木です。葉は対生し、楕円形で縁に鋸歯があります。葉の付け根から集散花序をだし、多数の淡紫色の小さな花をつけます。萼は短い鐘形で浅く5裂し、花冠は先が4裂します。今、球形で紫色に熟した果実を付けて、見る人の目を楽しませてくれます。落葉した後もたくさん残っています。



### ツルウメモドキの果実(ニシキギ科)

日本を含め、東アジア一帯に自生する落葉つる性の木です。伸びた枝の先に黄緑色の花を集めて付けていました。今は、淡黄色に熟した果実がはじけ、3つに裂開し、その中から赤い仮種皮の種子が見えています。その姿がきれいなので、生け花の材料によく使われます。



### イイギリの果実(ヤナギ科)

本州以南に分布する落葉高木で雌雄異株です。和名の由来は、昔、その大きな葉で飯を包んだため「飯桐」と言われるようです。ブドウの房のように垂れ下がった果実は、ナンテンに似ているので、「ナンテンギリ」とも言われます。おいしそうに見える実ですが、まずくて食べられないようです。



### サンシュユの果実(ミズキ科)

中国原産の落葉高木で、江戸時代に薬用植物として渡来しました。春、葉が開く前に淡黄色の小さな花をたくさんつけるので「春黄金花」と言われますが、秋は赤く熟す果実から「秋珊瑚」の別名があります。果肉を乾燥したものを強壮、強精などの薬用に、果実は果実酒にします。



### カリンの果実（バラ科）

落葉高木で、葉の縁には小さな刺状の硬い鋸歯が多数並びます。樹皮は鱗状にはがれ褐色の斑模様になります。花は淡いピンク色です。今は淡黄色の大きな果実が枝についています。その果実はカリン酒などの原料になります。マルメロ属の果実も「かりん」と称されることがありますが、正しくはマルメロです。



### ナツハゼの果実（ツツジ科）

山野に生える落葉低木で、6月にはたくさんの淡黄赤色の小さな鐘形の花を枝につけていました。今は、上部に横の線が見られる黒い球状の果実（液果）をたくさんつけています。園内にはたくさんの樹木が果実をつけますが、ナツハゼの果実には酸味があり、食べて美味しいです。



### ザゼンソウの冬芽（サトイモ科）

今は、地面から暗褐色の冬芽を出しています。春になると冬芽から仏炎苞が成長してきます。花は紫褐色の仏炎苞の中に多数の小花をつけた丸い花序です。



### ミスバショウの冬芽（サトイモ科）

今は、水面に緑色の冬芽を出しています。これが春になると葉に成長し、その後仏炎苞を出します。花は、白色の仏炎苞の中に多数の小花をつけた細長く黄緑色の花序です。



### アセビの冬芽（ツツジ科）

今は枝に沢山の冬芽をつけています。春になるとこれが花に成長します。白い壺形の小さな花を下向きにたくさんつけます。花は美しいが有毒植物です。



### ホオノキの冬芽 (モクレン科)

今は灰色のキャップ状の芽鱗に包まれています。5月になるとそれが径20cm以上の白い花になります。萼と花弁の区別は明瞭でなく、雄しべは多数で花糸は赤く、雌しべは円錐形で多数集まったものです。



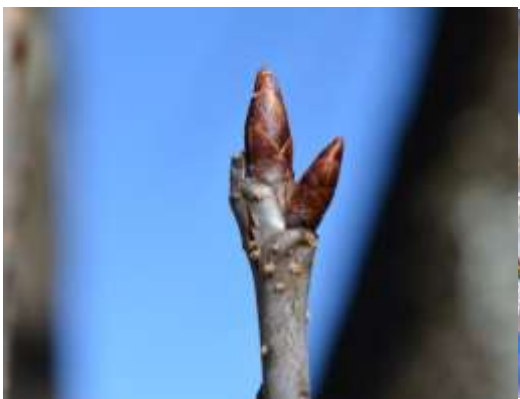
### トチノキの冬芽 (ムクロジ科)

今は枝先に茶色の冬芽をつけています。表面は樹脂を出し粘性があるのでさわるとペタペタします。5月に花が咲き、1つの小花は白色で基部がやや紅色を帯びた4弁花で、雄しべが長いです。それが20~30個集まり花序をつくっています。



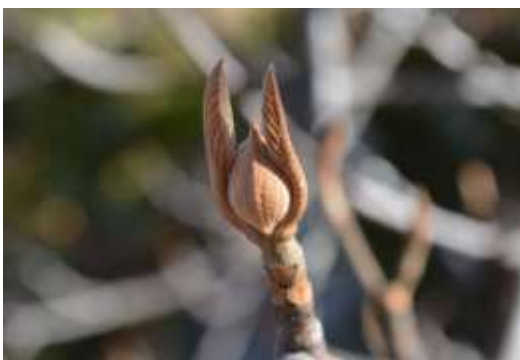
### キタコブシの冬芽 (モクレン科)

今は枝先に寒さをしのぐため白い毛で覆われた冬芽をつけています。側に葉の冬芽もあります。4月になり暖くなるとその冬芽から白い6枚の花弁の花が咲きます。



### オオヤマザクラの冬芽 (バラ科)

今は枝先に、寒さを防ぐために茶色の芽鱗で覆われた冬芽をつけています。茶色の芽鱗にはソメイヨシノのように短毛がなくスベスベしています。4月になると赤みがかった色をした若葉が開くと同時に淡紅色の花を咲かせます。



### オオカメノキの冬芽 (スイカスラ科)

今は枝先にウサギの頭のような形をした冬芽がついています。中央が花の冬芽で両端が葉の冬芽です。5月になるとガクアジサイに似た白い花を咲かせます。花の中心部は小さな両性花、周りは装飾花です。